

(財)女性のためのアジア平和国民基金

第2回理事会

平成8年1月

第2回理事会議事録

財団法人女性のためのアジア平和国民基金

1、開催日時・場所

平成8年1月19日(金) 9:30~11:30
基金事務局

2、出席者

▼理事会

原理事長、有馬副理事長、榎本理事、金田理事、金平理事、
下村理事、山口理事

▼オブザーバー

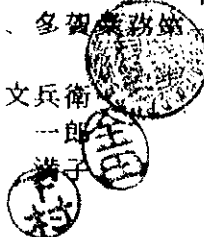
内閣官房外政審議室／平林室長、東審議官
外務省アジア局地域政策課／篠原地域調整官、宮川事務官、
中村事務官

▼事務局

和田事務局長、多賀事務第一部長、原田事務局員、岡事務局員

3、議事録署名人

理事長 原文兵衛
理事 金田 一郎
理事 下村 善子



4、議事次第

■報告および審議事項

▼対話チーム派遣について

- ・現地での面談予定者等について報告が行われ、韓国においては当該団体が対話を拒絶していることが伝えられた。

▼償い金について

- ・金額を各国／地域に対し一律にすべきか否かについて、討議した。
「一律」は運営審議会の大勢の意見ではあるが、依然議論の分かれる重要な点でもあることから、今回の対話においては「審議中」と答えることとなった。

▼新内閣に対する要望について

- ・新しい内閣に対し基金として正式に、協力を依頼する申入れを行うこととなった。

▼「女性のためのアジア議員連盟」について

- ・既に発足式が行われたと伝えられているが、詳細は不明である。アジア女性の問題を広く扱うものであり、慰安婦問題に特化したものではないということである。
- ・内情をよく把握した上で、懇談会を行いたいとの意見が出され、賛意を得た。

▼募金状況について

- ・添付資料にもとづき、募金状況の報告がされた。

▼DM発送について

- ・理事、運営審議会委員、呼びかけ人の紹介先、文化人名簿、全国文化施設、地方公共団体の長など、約15000通のDMを発送したことが報告された。

以上

議事録